



所属ニュース・業務紹介・出前講座

VRカメラを活用し 上空から麻機遊水地を眺めました

静岡土木事務所 河川改良課

1.概要

近年、全国各地で記録的な大雨・暴風が発生し、その被害は甚大なものになっております。洪水や土砂災害が多発している昨今、地域住民による防災対策への意思向上がますます重要視されています。

静岡土木事務所が推進する巴川流域総合治水対策の一環として、麻機遊水地の造成が位置づけられておりますが、こういった治水施設が存在することを、多くの市民が認知しておりません。災害への意識向上に先駆け、まずは県の治水施設を知っていただく目的で、VR(バーチャル・リアリティー)カメラを使用し、麻機遊水地を上空から眺めて頂きました。来場した皆様には、静岡市内に広大な治水施設が存在していることを知っていただき、自らの命を守るための防災対策と真剣に向き合う良い機会となりました。

2.講座時間・場所

平成29年8月4日 静岡市葵区呉服町

3.講座内容

- ・巴川流域総合治水対策事業の概要説明
- ・麻機遊水地のVR映像体験
- ・スマートフォン版サイポスレーダーの紹介

4.参加団体名・人数

市民 計 400人

VR体験の様子



会場の様子

